

# 第57回北摂四市対抗柔道大会

## 実施要項

- 1、主催後援 豊中市・箕面市・吹田市・池田市 各市柔道協会・連盟  
池田市教育委員会 箕面市体育連盟 吹田市（各市とも予定）  
豊中市（予定）
- 2、主管 豊中市柔道協会
- 3、日時 平成29年（2017年）5月21日（日） 12時受付 13時開会
- 4、会場 豊中市立武道館ひびき 2階 柔道場  
豊中市服部西町4-13-2 Tel:06-6864-2288
- 5、対象 当該市に在住・在学・在勤する者または、当該市内柔道教室等に所属している者で構成された代表チーム。
- 6、試合方法
- ① 一般、中学生、小学生の3部に分け、団体戦対抗試合とし、勝敗の決定は次による。
    - ア. 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
    - イ. アで同等の場合は「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
    - ウ. イで同等の場合、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
    - エ. ウで同等の場合、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
    - オ. ウで同等の場合、代表戦を行い、必ず勝敗を決する。  
（代表戦出場者は、引分け試合者とする。複数の引分け試合者がいる場合は、抽選にて代表戦者を決める。）
  - ② 各部ともトーナメント戦とし、3位決定戦も行う。但し、参加チームが3チームの場合は、リーグ戦とする。
  - ③ 補欠出場者の場合は、同じ段位の所へ、下段位の者はその段位へ入れる。
  - ④ 試合時間は、「小学生：2分」「中学生：3分」「一般：4分」とする。
  - ⑤ 審判規定は、国際柔道連盟試合審判規定及び大会申し合わせ事項に準じ行う。勝負判定は、「有効」又は「指導2」以上をもって判定する。
  - ⑥ 小学生、中学生は少年大会特別規定および大会申し合わせ事項による。
  - ⑦ 選手の配列は次の通りとする。  
小学生の部：高学年を上位にし、体重の軽い順に配列。  
中学生の部：先鋒・次鋒を女子とする。有段者を上位にし、学年を問わず、体重の軽い順に配列。  
一般の部：高段位を上位に配列。
- 7、チーム編成
- ①小学生の部  
監督 1名  
選手 7名（6年生3名、5年生2名、4年生2名）  
補欠 3名（各学年1名）
  - ②中学生の部  
監督 1名  
選手 7名（女子2名、男子5名）  
補欠 3名（女子1名、男子2名）
  - ③一般の部  
監督 1名  
選手 7名（参段：2名、貳段以下5名）  
補欠 2名（参段：1名、貳段以下1名）

8、表 彰 各部とも優勝市に優勝盾並びに賞状、二位・三位に賞状を授与する。  
但し、優勝盾はその年の優勝市が保管し翌年の大会には返還をする。

9、参加申込 平成29年(2017年)5月1日(月)までに各市取りまとめの上、別紙申込書(ワープロ書き)にて下記へ申し込んでください。  
\* 申込書の書式変更可。又、申込はFAX・メールも可とします。

〒

豊中市柔道協会 宛

TEL; FAX; Mail;

10、事故処理 大会中に生じた事故については、応急処置のほか主催者では一切の責任を負いません。

- 11、備 考
- ① 小学生、中学生の各部の出場者は、全員保護者の参加承諾書を各市協会・連盟に提出すること。(参加承諾書は各市にて保管。)
  - ② 審判については、各市2名を申し込み時に登録をすること。  
当日はネクタイ着用で審判をお願いいたします。
  - ③ 推薦中の者は推薦段位で出場のこと。
  - ④ 一般の部については、大阪府柔道連盟公認試合であるので、成績表を持っているものは当日持参してください。
  - ⑤ 組み合わせの抽選は大会当日行います。
  - ⑥ 脳しんとう対応について、選手および指導者は下記事項を順守すること。
    - ・大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
    - ・大会中、脳しんとうを受傷したものは、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
    - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
    - ・当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。